

平成25年度 新「ビジネス基礎」の出題基準について

平成25年度から施行される新学習指導要領に伴い、商業経済検定試験の出題基準が変わります。平成25年度は、「ビジネス基礎」が新たな基準で実施されます。概要につきましては、商業経済検定ニュース第25号でお知らせいたしましたが、今般、模擬問題を含めて改めてご連絡いたします。出題基準をご理解いただき、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

新学習指導要領に基づく商業経済検定試験への、ますますのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1 出題基準の考え方

新学習指導要領の目標・内容を考慮する。

新教科書の記載内容・重要用語を考慮する。

現行の出題基準を基に、新しく追加された学習範囲を考慮する。

2 形式別の出題内容の考え方

前回改定した時(平成14年度)の趣旨・ねらい(下記参照)を継承する。

3級科目であるビジネス基礎は、受験奨励級としての位置づけを明確にするとともに、事前準備や解答がし易く、正解が得られ易い内容として出題する。

以上の観点から、出題基準および形式別の出題内容は右記の通りとする。

新「ビジネス基礎」の出題基準

- | | |
|--------------------------|----------|
| (1) 商業の学習ガイダンス(出題範囲から除く) | |
| (2) ビジネスとコミュニケーション | 5問 |
| (3) ビジネスと売買取引 | 15問 |
| (4) 経済と流通の基礎 | 20問 |
| (5) 企業活動の基礎 | 10問 |
| | 各2点・計50問 |

形式別の出題内容は以下の通りとする。

直接解答型 20問(4題×5問)

本文参照型 30問

直接解答型の出題型式は以下の4種類とする。

関連事項の結合問題

一定条件による細目分類問題

解答群付きの空欄補充問題

下線部の正誤判定・訂正問題

3 模擬問題(ビジネスとコミュニケーション)

次の(1)~(5)について、下線部が正しいときは を記入し、誤っているときは訂正しなさい。ただし、正しいものを訂正した場合は誤答とし、すべてに を記入した場合は5問全部を無効とします。

- (1) コンピュータを用いて、多くのデータから新たな法則やパターンを発見する技術をデータマイニングという。 ()
- (2) お辞儀には場所や状況に応じて3つの種類があり、場面に応じて使い分けることが必要で上体を30度に倒して行うお辞儀を敬礼という。 (普通礼)
- (3) ビジネスの場面では敬語を正しく使うことが大切であり、「言う」を「おっしゃる」と表現する語は謙譲語である。 (尊敬語)
- (4) 事業を円滑に進めるためにはP D C Aサイクルが大切で、これはP l a n D o C h e c k A c t i o nの頭文字をとったものである。 ()
- (5) 消費者が営業所以外の場所で商品の売買契約を結んだときに、一定の期間内であれば契約の解除ができる制度をクーリングオフという。 ()